

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成28年度中間）

1 地域活動協議会の現在の状況についての分析

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」についての分析
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」についての分析
- (3) 「Ⅲ 組織運営」についての分析
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」についての分析

評価	左記の理由
A	・現状分析が丁寧になされており、それを踏まえた対応ができている。 ・分析の結果、地域にとって厳しいこともきちんと伝えており、誠実に対応している姿勢が感じられる。

2 事業の実施内容（支援策（取組）の内容）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の提案内容

評価	左記の理由
A	・動画サイトの活用等、目に見える形で活動内容をPRすることで、新たな事業展開につながった。 ・地域内で担い手を探し、ブログチームが結成される等により、生野区の19すべての地域活動協議会でブログが開設された。 ・新たな発想や切り口で取組んでおり、従来の取組とうまく連動してくれることを期待している。

3 事業の実施体制等

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の提案内容
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる提案内容
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容

評価	左記の理由
A	・ 支援員が以前から地域とのつながりを持っており、地に足がついた支援ができています。また、支援員それぞれの個性や特長を活かして互いにフォローしながら支援している。 ・ 共同体との連携を一層深めて、新たな角度からの取組もお願いしたい。

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）

評価	左記の理由
A	・ 「まちカフェ」を通じて、新たな担い手や取組みがうまれてきており、今後はそれらを地域活動協議会の中へうまく取り込んでいけるよう期待している。 ・ 区が進める子育て世帯の定住化に向けて、地域が主体となった子どもの居場所づくり事業についても、区と一体となって取り組んでいる。 ・ 「生野区まちづくり便り」等、紙媒体を活用した広報もまた有効であるので、さまざまな媒体を活用した広報活動の展開をお願いしたい。

5 現時点での支援策（取組）の実施状況に対する区の評価及び意見

評価項目

(1)現時点での支援の実施状況

(2)上記を受けた、年度後半の支援についての考え

評価	左記の理由
A	・ 支援のあり方が昨年度から大きく方向転換したこともあり、当初は地域に戸惑いも感じられたが、地域活動協議会の真の自律に向けて積極的な支援をしていただいている。 ・ 年度当初から新たな取組みや広報等、多くの仕掛けがなされており、年度後半に向けてそれらをどのように地域に還元していくか、そのあたりを意識して進めていただきたい。

6 総合評価

評価	左記の理由
A	・支援員が地元の人ということもあり、地域への思いも強く持っており、地域へのつながりも多く持っていることから、いろいろな人を取り込みながら積極的に新たな取組みがなされている。 ・SNSや動画を活用した広報で効果的な広報がなされている。 ・地域の将来像の共有については、以前から課題となっており、ワークショップ等の取組みを実施していただきたい。 ・まちづくりセンターの支援はいつまでも続くものではなく、限られた時間で地域活動協議会の自律をめざす姿勢が伝わってくる。 ・区の方針に基づいた支援がなされており、下半期に向けて共同体との連携をさらに深めながら、地域活動協議会の真の自律をめざして支援を続けてほしい。

(評価基準)

S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた

A：本市の求める水準以上の効果が得られた

B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた

C：本市の求める水準の効果が得られていない